

「男女共同参画（女性の活躍促進）に関するアンケート」結果

一人ひとりが性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮し、自分らしく生きられる男女共同参画社会の実現に向けて、女性の活躍推進の取り組みを効果的に進めるため、男女共同参画（女性の活躍促進）に関するアンケートを実施しました。

結果、756名の方からご回答をいただきました。アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆さんにはお礼を申し上げますとともに、その結果について下記のとおり取りまとめましたので、ご報告いたします。

（１）アンケート実施期間

平成27年1月9日（金）～平成27年1月27日（火）

（２）アンケート回収状況

対象者数 1,177名
回答者数 756名
回答率 64.2%

（３）回答者属性

- ・性別【男性】408名、【女性】348名
- ・年代別

20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
76人	156人	178人	165人	150人	31人
10.1%	20.6%	23.5%	21.8%	19.8%	4.1%

小数点第2位を四捨五入しているため、100%にならない。

- ・地域別

桑名・員弁地域	四日市地域	鈴鹿・亀山地域	津地域	松阪地域
91人	163人	109人	127人	92人
12.0%	21.6%	14.4%	16.8%	12.2%

南勢志摩地域	伊賀地域	尾鷲地域	熊野地域
97人	58人	12人	7人
12.8%	7.7%	1.6%	0.9%

（４）アンケート結果

Q1～Q2は、社会全体における男女平等についての設問です。

「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた方の割合は、61.2%、「女性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と回答された方の割合は、9.5%となっています。ちなみに、平等であると回答された方の割合は、17.5%となっています。

また、「平等である」「わからない」以外を回答された方に対し、その理由をたずねたところ、主な自由意見は次のとおりでした。

(「男性の方が非常に優遇されている」,「どちらかといえば男性の方が優遇されている」)

- ・職場での昇進・昇給・業務内容等において男性の方が優遇されている
- ・女性管理職が少ない
- ・女性の方が家事や育児・介護を多く担っている
- ・「男性は仕事、女性は家庭」というような意識が未だに強く残っている など

(「女性の方が非常に優遇されている」,「どちらかといえば女性の方が優遇されている」)

- ・労働環境や社会生活(女性限定のサービスや女性専用車両等)の面で女性の方が優遇されている など

Q3～Q4は、固定的役割分担意識や性別意識についての設問です。

Q3 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「同感しない(=「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対)」,「どちらかといえば同感しない」と回答された方の割合は54.5%と半数以上となっています。

Q4 進路や職業選択における性別の意識について、「性別をほとんど(全く)意識せずに選択した」と回答された方の割合が43.5%と最も高くなっています。

Q5は、男女共同参画の推進についての設問です。

今後、男女共同参画を推進していくために必要なことについては、「男性の意識改革(44.8%)」,「長時間労働の是正(28.7%)」,「男性の家事・育児への参画(28.4%)」を選んだ方の割合が高くなっています。

Q6～Q7は、女性の働き方についての設問です。

Q6 女性の働き方(考え方)について「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び働く方がよい」と回答された方の割合が53.4%と最も高くなっています。

Q7 Q6で「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び働く方がよい」と回答された方に対し、その理由をたずねたところ、「子どもが幼いうちは育児に専念した方がよいから」を選んだ方の割合が、61.1%と最も高くなっています。

Q8～Q10は、女性の活躍促進についての設問です。

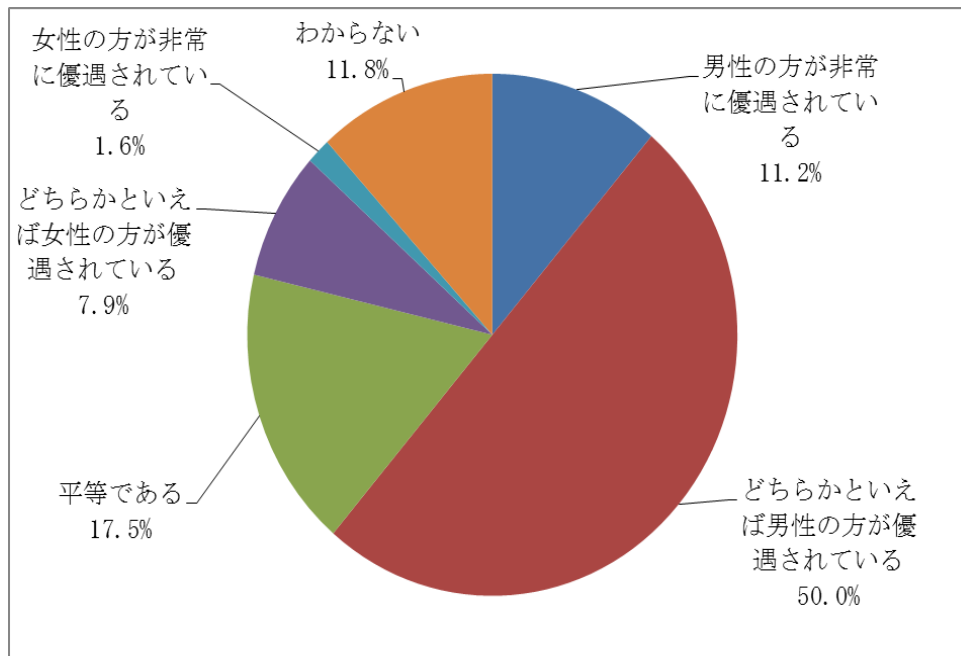
Q8 女性の活躍促進(状況)について、「活躍している」,「どちらかといえば活躍している」と回答された方の割合は65.1%と半数以上となっています。

Q9 Q8で「どちらかといえば活躍していない」,「活躍していない」と回答された方に対し、その理由をたずねたところ、「女性が働きにくい仕事・職場環境だから」を選んだ方の割合が37.6%と最も高くなっています。

Q10 働く場で女性の活躍が進むために家族や社会等からの必要な支援については、「保育の施設・サービスの充実(70.5%)」,「男性の積極的な家事・育児・介護への参画(60.7%)」,「高齢者や病人向けの施設や介護サービスの充実(45.4%)」を選んだ方の割合が高くなっています。

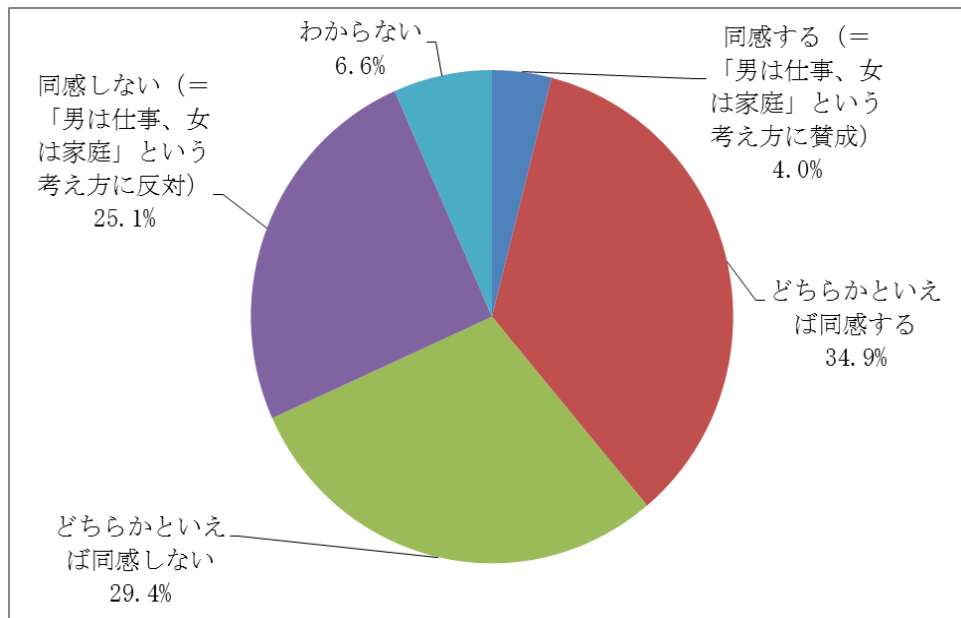
Q 1 男女平等について（社会全体）

あなたは、社会全体で、男女の地位が平等になっていると思いますか。



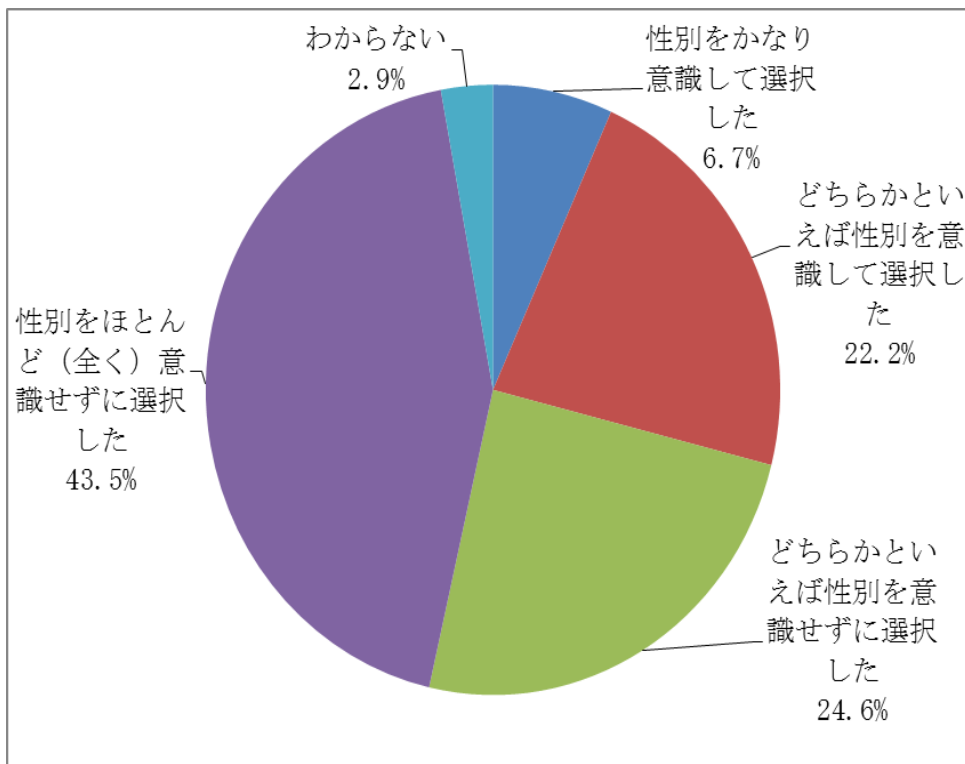
Q 3 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。



Q 4 進路や職業選択における性別の意識について

あなたは、進路や職業を選択する際に、性別を意識しましたか。



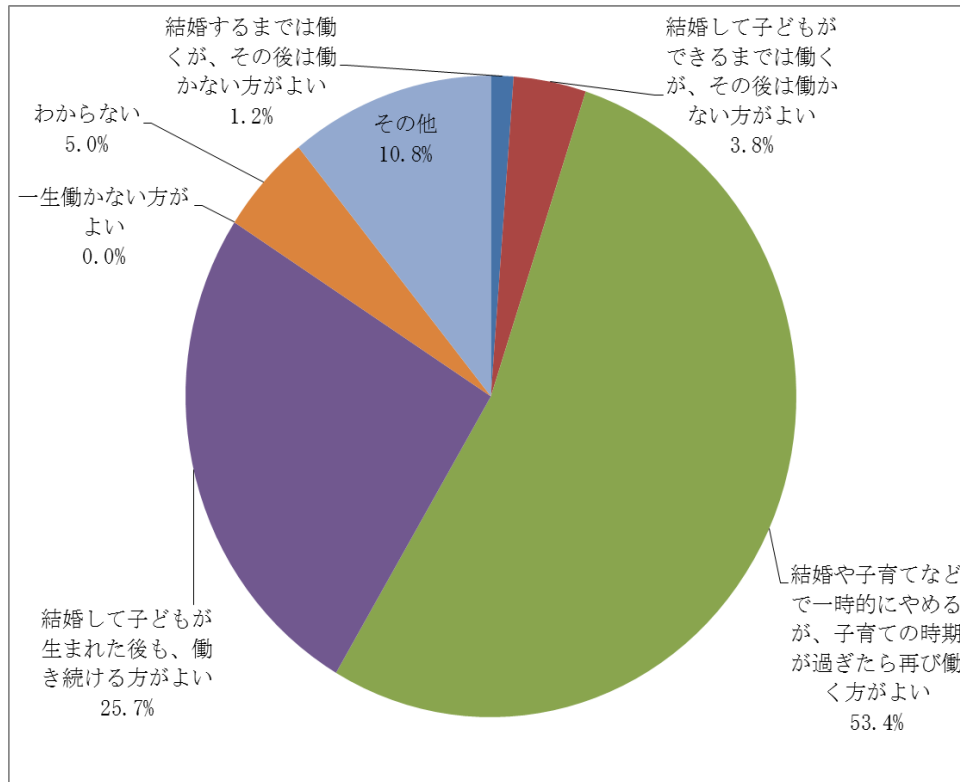
Q 5 男女共同参画の推進について

今後、男女共同参画を推進していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
（2つまで回答可）

必要と思われること	件数	割合
合計	1348 (756)	%
女性の意識改革	199	26.3%
男性の意識改革	339	44.8%
女性の家事・育児の負担軽減	206	27.2%
男性の家事・育児への参画	215	28.4%
長時間労働の是正	217	28.7%
女性が自らの能力を高める機会の提供	101	13.4%
女性の参画を進める必要はない	17	2.2%
その他	28	3.7%
わからない	26	3.4%

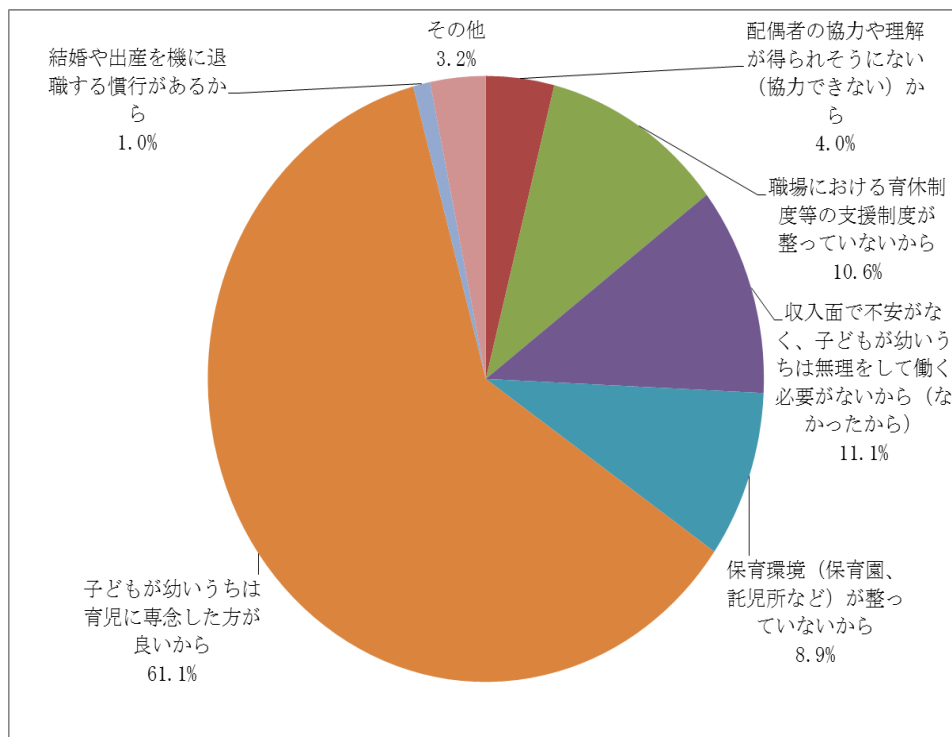
Q 6 女性の働き方について（考え方）

あなたは、女性が働くことについて、どのようにお考えですか。



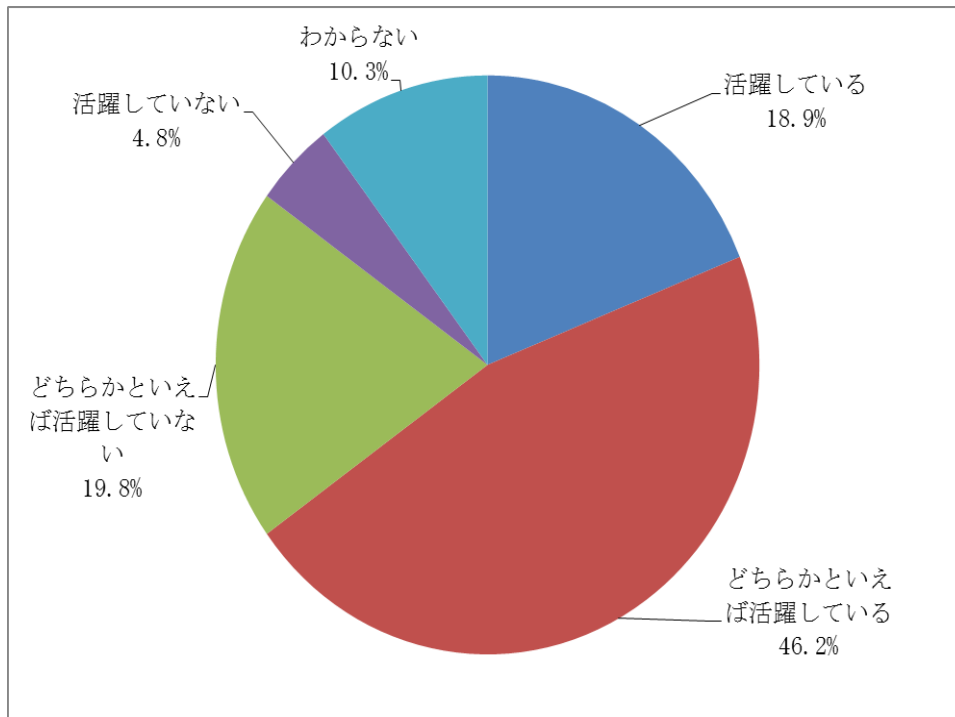
Q 7 女性の働き方について（理由）

Q 6で「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び働く方がよい」を選択された方におたずねします。なぜ、そのように考えますか。



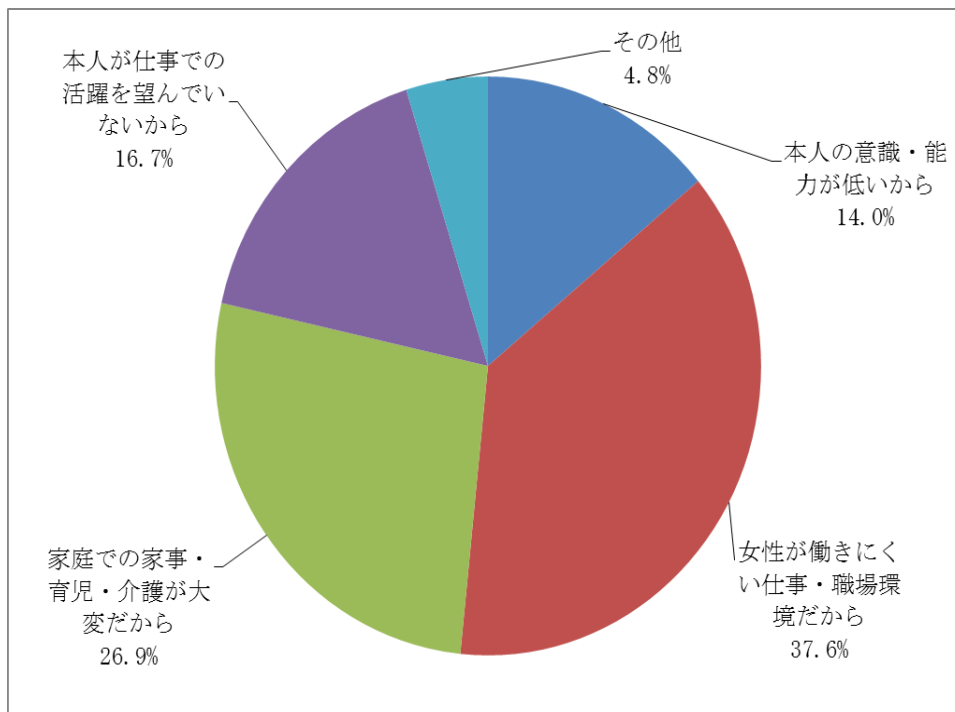
Q 8 女性の活躍促進について（状況）

あなた自身、あるいは、あなたの身近で働いている女性は総じて、働く場で活躍していると思いますか。







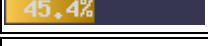

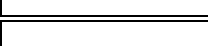

Q 9 女性の活躍促進について（原因）

Q 8で「どちらかといえば活躍していない」、「活躍していない」を選択された方におたずねします。活躍していないのはなぜだと思いますか。



Q10 女性の活躍促進について（方策）

働く場で女性の活躍が進むためには、家族や社会等からどのような支援が必要と考えますか。（複数回答可）

合計	2282 (756)	% 
男性の積極的な家事・育児・介護への参画	459	60.7% 
夫以外の家族・地域による家事・育児・介護への支援	269	35.6% 
保育の施設・サービスの充実	533	70.5% 
高齢者や病人向けの施設や介護サービスの充実	343	45.4% 
利用しやすい(育児・介護以外の)家事サービスがあること	287	38.8% 
能力向上に向けた研修や就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること	277	36.6% 
起業を希望する際に資金調達やノウハウの取得が容易なこと	54	7.1% 
その他	60	7.9% 